

# この地球、資源は有限、未来は無限 リサイクル都市・狭山を全国に発信しよう！



5月15日に開催されたリサイクルマーケット。4,000人を超える人でにぎわいました

狭山市は、市の将来像に掲げる「緑と健康で豊かな文化都市」の実現を目指して、平成8年11月、全国で3番目となる「リサイクル都市・狭山」を宣言し、これまで官民一体となって、さまざまな環境保全対策を実施してきました。6月は、環境月間です。この機会に、身近なところからできる環境への取り組みを考えてみましょう。

## 狭山市の主な環境政策

### 狭山市環境基本計画

市では、平成15年3月改定の狭山市環境基本計画を環境行政の道しるべとして、共生・循環・参加をテーマに市民・事業者との協働で、環境保全事業を推進しています。

19年3月には、基本計画の「地球温暖化対策地域推進計画」を実施するためのアクションプランを定め、みんなで進める8つの重点施策として、「エコライフDAYさやま」の展開、緑のカーテン・すだれの普及、楽しく省エネ行動の普及、自動車・交通網の展開、「得」する省エネ診断の普及、省エネ技術などの情報発信・交流、公共施設の省エネ化、ESCO事業（省エネルギーの提案、施設の提供、維持・管理など包括的なサービス）

行（う）事業）の導入、バイオマス活用技術の検討に取り組んでいます。

ISO14001

ISO14001とは、ISO（国際標準化機構）が定める環境マネジメントシステムの国際規格です。環境マネジメントとは、組織が活動する際に、環境になるべく負荷をかけないような活動を行うとともに、その活動を継続的に改善していく仕組みのことです。

ISO14001の規格に適合させた、環境管理マニュアルを策定し、事務事業から生じる環境への負荷の低減や地球環境問題の解決に努めています。

リサイクルプラザ（22ページも合わせてご覧ください）

リサイクルプラザは、ごみ減量とリサイクルの情報発信の拠点施設として、21年1月にオープンし

ました。食器古着などの不用品や再生家具などの展示・頒布のほか、各種講座などを行っています。



緑のカーテン（平成21年）にも役所に

このほか、住宅用太陽光発電システムの設置費補助、次世代自動車の購入費補助（環境政策課）や生ごみ処理機器の設置費補助（資源循環推進課）、生活排水処理の合併処理浄化槽設置費補助、クリーン作戦（地域環境美化運動）への支援（生活環境課）なども実施しています。補助制度の適用を受けるためには、それぞれ一定の要件があります。詳しくは、各担当窓口へお問い合わせください。

スーパーでレジ袋を辞退すると、ちょっとお得なことが...

マイカル狭山サティ	購入価格から2円値引き
エコープ関東入間店	購入価格から2円値引き
西友狭山市駅前店	購入価格から2円値引き
ベルクベスタ狭山店	ベルクカードに2ポイント/回 500ポイントでお買物券500円と交換
マルエツ入間川店	レジにて2円値引き(1,050円以上購入時)
ヤオコー (市内3店舗)	エコポイントスタンプカード1点/回 1枚(20点)で100円のお買い物券、3枚(60点) でオリジナルマイバッグと交換
コープ狭山台店	毎月「2」のつく日に「ノーレジ袋チケット」 1枚配布。チケット5枚でボックスティッシュ 1箱と交換
ビッグ・エー (市内2店舗)	昭和54年の創業当時から環境運動に取り組み、 お買物袋ご持参運動を推進(オリジナル ビニール袋10円販売)

毎日がノーレジ袋デー

資源循環推進課

市では平成13年11月に日本で初めて「ノーレジ袋デー」を設け、市民の皆さんと多くの事業者のご理解とご協力をいただき、ノーレジ袋デーの推進に努めてきました。さらに、今年の2月からは「毎日がノーレジ袋デー」として、より一層のレジ袋削減活動に取り組んでいます。

『4R』によるごみの減量とリサイクル

狭山市が取り組む4つのR	事例紹介
Reduce (リデュース) ごみの発生抑制を進める	マイバッグを持ち歩く 過剰包装を避けるよう心がける 食べ残しをしないように工夫する 食材や食品をムダにしないように 気をつける 生ごみ処理機器(容器や電気式)を 活用する 購入金額に対し、補助 金制度があります
Reuse (リユース) 繰り返し使用する	洗剤などは詰め替え用を使い、容 器(ボトルなど)を再利用する リサイクルプラザやリサイクルマ ーケットを利用する マイ箸、マイボトルを使用する
Recycle (リサイクル) ごみではなく資源とする	資源(びん・缶、古紙・古布、ペット ボトル、プラスチック)をごみから 分ける 資源になるものは、地域の集団回 収や市の決められた品目の回収日 に出す 登録された団体の集団 回収には、補助金制度があります 生ごみリサイクル事業に参加する 事業に参加を希望される方は、 事前にお問い合わせください
Regenerate (リジェネレート) 再生品を率先して使う	再生品の商品(紙製品、プラスチッ ク製品など)を利用する

環境省の平成20年度の廃棄物の排出実態調査によると、家庭から出されるもやすごみに含まれるレジ袋の割合は、重量比で0.8%という結果が出ています。市の20年度の家庭のもやすごみが2万5千595tあったことから、年間で約205tのレジ袋を燃やした計算になります。燃やすことで二酸化炭素が発生することになり、地球温暖化に影響を及ぼします。また、石油原料から作られるレジ袋

を使わないことが、限りある石油資源の節約につながります。出かけるときはマイバッグを持参して、不要なレジ袋をもらわないよう、環境にやさしい行動の第一歩を始めてみませんか。皆さんのご協力をお願いします。

『4R』による

ごみ減量とリサイクルの推進

資源循環推進課  
狭山市は「リサイクル都市」を

環境フェアを開催

環境政策課  
皆さんに環境への関心と理解を深めていただけるよう、環境フェアを開催します。たくさんの方のご来場をお待ちしています。  
日時 6月27日、10時～15時(雨天決行) 場所 リサイクルプラザ(第一環境センター敷地内) 内容 堆肥の無料配布、地場産野菜の即売、小型家具フェア(1世帯1点のみ)、風船クラフト、パネル展示など  
子ども工作教室(同時開催) 10時30分～13時30分 内容 本立てを作る 対象 小学4年生以上 定員 各8名 申込み 6月17日 第一環境センターへ 29532831

問合せ環境政策課へ 内線 3671  
資源循環推進課へ 内線 3630  
生活環境課へ 内線 3681